

所有者意向調査の実施について

「空家等対策計画」策定の基礎資料とするため、以下のようなアンケート調査を実施します。

1 調査の目的

本市に存在する利用頻度の低い、または利用されていないと見られる家屋の所有者における、家屋の利用や維持管理の状況、今後の利活用についての意向などを把握し、「空家等対策計画」策定の基礎資料とする。

また、今回の調査を通じ、空き家所有者に対して空き家の維持管理や利活用に関する意識の啓発を行う。

2 調査期間（予定）

9月1日（木）～9月15日（木） ※9月26日（月）到着分までを入力・集計の対象とする

3 調査対象

「空家基礎調査」で確認された、利用頻度の低い、または利用されていないと見られる家屋の所有者 約4,800人

4 調査方法

郵便により調査票を送付・回収

5 調査項目

I 対象家屋の基本情報

《居住者の有無／取得方法／家屋の建築時期／人が住まなくなった時期・きっかけ》

II 対象家屋の利用状況

《家屋の利用状況／（利用していない場合）利用していない理由》

III 対象家屋の維持・管理の状況

《主な管理者／管理の頻度・内容／緊急時の対応者 等》

IV 今後の利用意向

《今後の利活用についての希望》

V 対象家屋についての困りごと

《維持管理についての困りごと／利活用についての困りごと》